

設計図書等に対する質問及び回答

工事名 皆生処理場脱臭機械設備改築工事

番号	質問内容	設計図書等の該当頁	回答
1	配置技術者について、「工場製作期間」と「現場期間」でそれぞれ違う技術者を配置することは可能か？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	可能です。ただし、入札参加申込み時に「配置予定技術者調書（様式第3号）」に記載した技術者に限ります。
2	上記（質問1）の場合に、「工場製作期間」の技術者の実績も必要か？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	「工場製作期間」の技術者の実績については、必要ありません。
3	上記（質問1）の場合に、「工場製作期間」の技術者は専任でなくても良いか？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	基本的に請負金額が3500万円以上の工事は、専任を要すると考えておりますが、「監理技術者制度運用マニュアル」等を参考に建設業法に違反しない技術者の配置であれば、専任を要しません。
4	現場代理人について、「工場製作期間」と「現場期間」でそれぞれ違う現場代理人を配置することは可能か？可能な場合に、入札参加申込み時に「配置予定技術者調書」への記載が必要か？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	可能です。現場代理人については、「配置予定技術者調書」への記載は必要ありません。
5	上記（質問4）の場合に、「工場製作期間」の現場代理人は専任でなくてもよいか？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	「工場製作期間」、「現場期間」ともにそれぞれ専任です。
6	上記（質問4）の場合に、「工場製作期間」から「現場期間」の移行時に現場代理人を変更することは可能か？	入札説明書 2 入札参加者 配置技術者	可能です。「現場期間」へ移行時に「現場代理人変更通知書」を提出していただきます。

番号	質問内容	設計図書等の該当頁	回答
7	撤去工事に関して、新設脱臭設備・脱臭ダクトの運用後でなければ撤去出来ない既設機器、脱臭ダクト等がありますでしょうか。	特記仕様書 P 23 ～、図面番号 M-21 ～	特記仕様書 P23～P24に記載している撤去機器全てになります。
8	屋上に設置する脱臭ダクトのサポート、渡り歩廊に関して、固定用のアンカー打設は必要ないと考えてよいでしょうか。	図面番号 M-13, 14	お見込みの通りです。
9	覆蓋更新時、水処理水槽は全て運用中の状態であると考えてよいでしょうか。	図面番号 M-17, 18	お見込みの通りです。
10	仮設費（積み上げ）枠組本足場について、具体的にどこの施工箇所を対象としていますでしょうか。	工事設計書第 7 号 明細書	沈砂池脱臭ダクト更新箇所、水処理ダクト撤去施工箇所です。
11	特記仕様書 P. 23, 24 第 4 章 撤去工 § 1 撤去機器 1. 撤去機器仕様番号 1～19 について各撤去機器の重量をご教授下さい。		別紙重量一覧参照
12	集泥槽脱硫装置の本体の材質が“PVC又は同等品”と記載されていますが、例えば“本SS400+内面PVCライニング”等のように臭気ガスと接する部分に機能的に同等の材質を用いる構造のものでもよろしいでしょうか。	特記仕様書 P. 12	機器材質等につきましては、受注者との協議により決定します。
13	配置技術者の工事实績について 実績該当工事の現場施工期間途中で A の技術者から B の技術者に変更となりました。この場合、A の技術者と B の技術者どちらが実績ある技術者として認められるのでしょうか。 工事の各期間の割合（%）は以下の通りです。 製作期間（63%） 現場期間 A（28%） 現場期間 B（9%）	入札説明書 2 入札参加資格者 配置技術者	配置技術者の工事实績に関しては、現場期間の技術者のみ必要としております。現場期間で技術者の変更があった場合は、 <u>現場期間の50%以上</u> 従事したものを実績として認めますので、質問の例ですと、現場期間 A を実績として認めます。

重量一覧

番号	名 称	設置場所	重量 (t)
1	排 風 機	本館 脱臭設備	0.31
2	オゾン反応塔	〃	2+3=(1.37)
3	水 洗 塔	〃	
4	洗浄水ポンプ	〃	0.09
5	〃	〃	0.036
6	オゾン濃度 測定装置	〃	0.20
7	オゾン発生機	〃	0.25
8	サンプリング ファン	〃	0.05
9	排 風 機	水処理 脱臭設備	0.36
10	オゾン反応塔	〃	10+11+13=1.47
11	水 洗 塔	〃	
12	洗浄水ポンプ	〃	0.09
13	循環水槽	〃	
14	オゾン発生機	〃	0.36
15	オゾン濃度 測定装置	〃	0.36
16	空気圧縮機	〃	0.08
17	サンプリング ファン	〃	0.05

番号	名 称	設置場所	重量 (t)
18	洗浄水ポンプ	水処理 脱臭設備	0.007
19	脱硫装置	集泥槽	1.72

番号	質問内容	設計図書等の該当頁	回答
14	脱硫塔について、脱硫後の硫化水素濃度0.02ppmとありますが、活性炭吸着塔出口濃度で0.02ppmと読み替えて宜しいでしょうか。（脱硫塔出口における硫化水槽濃度は10ppm以下）		お見込みの通りです。
15	脱硫塔について、使用材質がPVC又は同等品となっておりますが、同等品とした、FRP+鋼材補強、又はSS400+内面耐食塗装（エポキシ樹脂塗装）と考えてよろしいでしょうか。		機器材質等につきましては、受注者との協議により決定します。
16	脱硫材の交換について、排出は塔内部満水状態で上部マンホールよりバキューム車による吸引、投入は上部マンホールよりユニック車によるフレコン吊り上げ投入と考えて宜しいでしょうか。なお、ユニック車は4トン車で4段程度のブーム長さを持った車両と考えています。		脱硫材の交換については、特に指定はありません。特記仕様書第2節を参考に適切に交換して下さい。
17	積算基準の適用年度と適用労務単価、適用単価年月をご教授下さい。	工事設計書	令和元年度歩掛表採用。 令和2年8月単価採用。
18	枠組本足場（手すり先行方式）1式の積算参考数量をご教授願います。積上げ仮設費に関する内容は、特記仕様書に対象箇所、必要数量を明示すべき事項と考えられます。（下水道積算基準より）	工事設計書17項	枠組本足場(61.2㎡)、安全手摺(22.2m)、共に手すり先行方式。
19	撤去対象となる、配管工、覆蓋、グレーチング、風道、ダンパの規格ごとの撤去数量をご教示願います。	特記仕様書25頁～29頁	SGP- VB25A(1.39m)50A(4.46m)・ SGPW15A(3.78m)25A(30.11m)・ SUS304 15A(27.92m)・VPΦ 16(12.21m)Φ20(22.3m)Φ 25(9.57m)Φ30(2m)Φ 40(30.75m)Φ50(93.26m)Φ 65(5.64m)Φ75(0.43m)Φ 100(37.93m)・HIVPΦ 25(6.73m)・VUダクトΦ 300(0.15m)Φ200(1.21m)・覆 蓋(15.07㎡)・グレーチング (1,511.39kg)風道(1.29㎡)・ ダンパ(図面M-21記載)
20	複合工(1/2)の防塵塗装の施工場所をご教示いただけないでしょうか。	設計書 第6号明細書	図番M-4 脱臭室になります。

番号	質問内容	設計図書等の該当頁	回答
21	(13)吸着塔周りには点検用踊場、階段、手すりを必要箇所に設けるとありますが、建屋に荷役設備がつく場合に必要になるものであり、本仕様書に荷役設備内装型(P6)の記載がありますので必要ないものと考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書 (P5)	受注者との協議により決定します。
22	集泥槽脱硫装置の(9)本設備には点検歩廊、手摺り及び昇降用階段を必要に応じ設けるものとする。と記載がありますが、図面には特に描いてありません。メーカー毎に脱硫剤の充填方向、取り出し方向の違いを配慮されたものと考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書 (P12) 図面M-11	お見込みの通りです。
23	§1鋼製加工品 3ダクトサポート材質 SS400+Znメッキの記載がありますが、(22) §5脱臭用風道及びダンパ 6初沈脱臭ダクトのA仕様サポート(SUS製)以外のサポート材質と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書 (P18)	材質はSS400+Znメッキです。
24	脱臭設備制御盤、継電器盤は電気工事で撤去するものと考えてよろしいでしょうか。	図面M-22、M-26	お見込みの通りです。
25	吸着脱臭装置設置場所のスラブ許容荷重は、構造計算済みで問題ないでしょうか。	図面M-3、M-6	問題ありません。
26	小配管・弁類(1/2)に薄肉管 φ125~350 VU管が計上してありますが据付歩掛は、配管工またはダクト工どちらで積算されてますでしょうか。	設計書第1号明細書	配管工積算です。